

A 市長 松尾厅舎は、耐震性の問題から解体・撤去する方向で現在、調査検討中です。

A 市長 松尾地区の皆さんに計画を示すのはいつ頃ですか。

A 市長 平成22年度です。で

A 市長 かかるだけ早い時期と思って

A 市長 十分に地元の皆様方と話をして決めていきたい。

A 市長 蓬沼厅舎をどのように活用について伺います。

A 市長 蓬沼厅舎をどのよう

A 市長 な形で使うか明確な答えは出ていません。

Q 県道飯岡一宮線バイパスについて

A 市長 木戸川橋梁について、やる気があるのか、ないのか明確にお答えください。

A 市長 市としては、重要な路線として位置づけはしています。土地の買収で大きな障害があり、現在のところ見通しが立たない現状です。架橋も道

A 市長 現在の成東病院の状況は、比較して大変好転していま

す。特に入院、外来ともに増加傾向にあり収益に大きく反映しています。

Q 現在まで資金不足もなく、収支のバランスを保っている状況です。

Q 城西国際大学に看護学部の設置を要望し、奨学金を貸与して支援すると報道されていますが、具体的な考え方があつてのことか。

A 市長 市の立場は、看護師は地域で育てる必要があるということから、城西国際大学に看護学部を作つていただくことに對し書き込まなければならないことから記述しました。

Q 市として最初から考へがあつたのか。

A 市長 長先生から、看護学部が必要であるということは、以前から話はありました。

Q 平成25年度には医師が32人、看護師147人に増員し、診療休止中の産科も復活を目指すことです。大変甘い見通し、不安な見通しだと思

A 市長 看護師の確保や医師の確保は簡単にできる目標ではありません。病院として全力を挙げて取り組む仕事だと思います。

●公共交通について

Q 公共交通の現状と展望について伺います。

A 市長 現在の進捗状況は、支のバランスを保っている状況です。

Q 市の公共交通体系の基本方針、目標、実証実験運行などの具体的な事業計画を盛り込んだ山武市地域公共交通総合連携計画の素案を作成しパブリックコメントを実施しています。今後は市民の皆様から要望の高いものについて実証実験をしていきたいと考えています。

Q 山武署管内の高齢者の事故件数と、65歳以上の免許保有者数を伺います。

A 総務部長 高齢ドライバーによる交通事故は増加傾向にあると認識しています。山武市における65歳以上の高齢者の運転免許保有者数は平成22年1月1日現在6781人、運転免許保有者の17・4%です。また、65歳以上の高齢者の人身事故件数の推移は平成18年73件、平成19年68件、平成20年66件、平成21年61件です。

Q 市として、高齢者の運転免許証の自主返納を促し、高齢ドライバーの事故を防ぐ考

A 市長 大変有効な手段としての提案をいただきありがとうございます。

Q 16の課題への取り組みは、N A Aが容量を拡大するかわりに取り組むという条件的な要素を含んでいると考えてい

A 市長 基本的にはそうだと考えます。

Q そうであるならば、16の課題への対応方針や目標時期をもっと明確に定めていただ

A 市長 9市町が足並みをそろえてやっていくということで、山武市として特にこの問題に、市が単独で取り組んでいくことは考えてございません。

Q 来年の7月でアナログ放送が終了となる現時点で、目標時期、対応方針が余りにも不明確と思うがどう考へているのか？

A 市長 不明確であることはおっしゃるとおりです。N A Aや国の対応に非常に不明確な部分があり、市として最終的な方向を決める時期が遅れているということです。

Q 16の課題への取り組みは、N A Aが容量を拡大するかわりに取り組むという条件的な要素を含んでいると考えています。

A 市長 小野崎正喜 議員

Q 四者協議会で合意された容量拡大について、市民、特に空港に近い住民の方々の意思は反映されているのか？

A 市長 特に地域の皆様方と、この問題について事前の話し合いはしております。

Q 今後、市民の意見を伺うのか？

A 市長 具体的に考えていましたが、必要に応じて、そのようにさせていただきます。

Q ような場を作る予定があるのか？

A 市長 せんが、必要に応じて、その

Q 課題への取り組みは条件的な要素を含んでいるといふことで、もっと強く要望すべきと思うがどうか？

A 市長 地域として、共存・共栄を図っていくためには、無理難題は申し上げにくいとい